

結婚觀の前置

無名氏 生

「結婚をどう考へてゐるか」との問ひを試みになげてみる。彼女が「そんなつまらない事を考へてゐる余裕をもたぬ」と答へるのだ。彼女は卒業をまぢかに控へた女學生である。世の男子よ、女學校を出た女は家庭に不向であることを知つてゐるのだらうか。女學校に於ての教育は結婚を彼女等に不合理な(自己的、精神的、嫌惡的偏見だ)ものしからしめないのであるか?

「彼女は誇大な妄想の探究者」それが社會的、家庭的に不幸なる結果をもたらすのであることを考へせしめる。結婚は人類の本能的儀式である。人類の繁榮的生殖の權化、神聖なる結婚は最上の人道義の承認ではなからうか。

「私はもつと自由でありたい」として私にはもつと理解を望む。これが次にに出た彼女の言葉だ。彼女が理解を望むといはねばならぬ程非存在的な位置にあるのか? さう考へるのは少し早すぎやうと思ふ。彼女たちが理解なき因襲の間に咲く花と誰か呼び得る言葉を與へたであらう。これは彼女たちの氣盛の束縛を感ずるのだらう(だがこれは彼女たちの全部を論じてはならない)。社會的、職業的進出を叫ぶ現今の世相は彼女たちをそんなに卑下してはゐない。彼女たちよ、自由は永遠の理想であることを知つてくれ。自由の名によつてつくられる罪惡の多きことこそ何を語るか自由を希はゞ死を撰べ(それでも自由は逃うせるだらう)「夫にする様な男はない」とい

つた、これは妻にする、妻にしたい、女の事と同じ言である。彼女たちは人間の求めあふ真理をつかむことができない。お徳舌をしかも繰返してゐるのだから一人間の魂をつかめ、それがよき夫をうける捷徑であることを告げる彼女たちよ、やま氣をだすな。結局はやつぱりつながられる身、インテリゲンチヤの産兒制限に賛同するのはよせ、結婚は女の一切である。

腸胃 内科 専門 村松
十二指腸 腸胃病 胃腸病
梅毒 皮膚病 専門 院醫科
平五 山野邊藥局

鼻の薬 チクノール
印刷物は 加納活版所

家傳 腫物湯
●いたみはれ物 ●筋骨痛(神経痛に相當す)
●關節痛(リウマチスに相當す)
●効能説明 △いたみはれ物 いたみはれ物と申しましても非常に範圍が廣いのであります。本劑が特に効を奏する重なる病名を擧げれば △顔や唇やくちから瘡疔 △指の腫れるへう疽 △乳腫れ △あか切れや刺傷から微菌が這入つて皮膚の間に化膿する急性慢性淋菌性膿瘍 △頸腺炎 △鼠蹊部の腫れる急性慢性膿瘍 △肉の化膿 △顯著なる効力があります。勿論病状に依り薬効に迅速あはします。重症は三日乃至五日位、重症は二週間乃至五週間で効果を見る事が出来ます。

定 價 二日分 金五十銭
二日分 金五十銭

特約店 平町四丁目 小野藥店
電話一四四

血の深 六日寫眞替り 料金普通
日活江戸文學 現代劇 酒井米子 久々の主演 江戶名優 浮名 さんけ
南部章三、徳川良子、神田俊二、村田宏
松竹右太夫、大作 市川右太衛門 主演 捕物? 仇討? 素手鉢 原尾八三 監督 長尾史録

松日 竹活 平 館

生徒募集廣告
一、募集人員 第一學年 凡ソ貳百五十名 第二學年 補缺轉入學若干名
二、願書提出期日 三月十日迄
三、考 查 期 日 三月二十四日 第二學年補缺轉入並ニ尋五ヨリノ資格考査 三月二十五日 第一學年入學考査 三月二十八日 第一學年入學考査 三月二十九日

詳細ハ中學校ニ問合スベシ
福島縣立磐城中學校

BISHINGAN
子宮美神丸
一自安 價廉 僅五錢 藥日 僅五錢 藥日 僅五錢
の錢五か僅價藥日一自安
治療宅便簡・價安
の密秘・効卓・便簡・價安
すで薬想理たつ揃

●こんな徴候の人々は早く汗拭すべきです
●血帯下、赤帯下、コシケ多き人、下腹痛、筋張り又はつる人、子宮冷感、腰脚の冷え又は痺れる人、月經不順、月經時に腹痛、脚の冷え又は痺れる人、月經不順、月經前後に白濁つたこと、下る人、子宮毒尿意頻、頭痛、耳鳴、眩暈する人、肩が凝り又は背が痛む人、逆上早産する人 定價一週分一・八〇 二週分三・五〇 五週分一・八〇 十週分三・五〇

代理店 平町五丁目 山野邊藥局

外科 一般外科 内臓外科 性病科 X光線科
入院隨意(自炊の便あり)
元赤心堂病院跡
安齋外科醫院
電話四七五

平町字一丁目(電話三三六番)
生花商 花友
八田 與 市
丹後澤舟遊會
丹後澤鯉養育所
開業廣告
今般左記ノ通り開業致候間此段及謹告候
昭和五年三月一日

專門 内科 一般
住宅 診 時間 午前七時より午後十時迄
但し急患はこの限りにあらず
平町南町六五(元大和田耳鼻科跡)
川井内科診療所
電話七二二一番
醫學士 川井重之
女 醫 川井安子

平町南町 **大和田醫院**
電話一七〇番
母繁子永々病氣の處療養相叶はず本日午後二時半遂に死去
致候間此段御通知申上候
追て葬儀は来る七日午後一時自宅出棺
青雲院に於て佛式相營み可申候
昭和五年三月四日

男 佐々木 龍若
親戚 佐々木 節次郎
清水 廣政
總代 松本 喜作